

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ウィズユー栗東小平井		
○保護者評価実施期間	2026年2月13日		～ 2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2026年2月12日		～ 2026年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アットホームな家で過ごしているような感じで過ごすことができる。	ゆったりと安心した過ごしができるように利用者様の人数、特性を考慮し部屋を分けて支援を行っている。	
2	ご家庭のニーズに合わせた学習支援。	個々の特性を考慮し、その日の状態も観ながら学習支援を行っている。	職員誰でもが同じ質の支援が出来るようにする。
3	早朝送迎、臨機応変に対応。	早朝の朝の保護者様とのミニ連絡タイムの強化。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時等の対応についてのご家庭への周知。	ご家庭への周知するための策定が整っていない。	非常時対応のマニュアルの策定とご家庭への連絡。
2	段差、バリアフリー化の課題	一般住宅を活用しているため、完全なバリアフリー環境ではない。	段差部分の視覚的表示や滑り止め対策を強化し、事故防止を図る。
3	活動記録の発信	個別に活動報告は出来ているが、全体を通した発信が少ない。	HUG記録での活動報告を増やしていきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ウイズユー栗東小平井				公表日	2026年2月25日	
				利用児童数	36	回収数	28
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	3		3	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	2		6	児童数に対しての適正職員数を知らない。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	2		5	支援場所が1階2階に分かれているため昇降が気になるが、職員が帯同して対応する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	2		3	日々の清掃をしっかりとし、特性に合わせた空間作りをしている。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20			3	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22			1	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22			1	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21			2	
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	2	1	11		同事業所内で地域との交流の場を設けて参加しているが、今後施設内でも機会を設けたい。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	2			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	1		2	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19			4	同事業所内合同で研修会などを開催している。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	22			1	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	4		2	定期的に面談は行っているが、頻度については検討していく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22			1	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	2		8	兄弟同士の交流は望んでいない。 保護者交流会があるかはわからない。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22			1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	1		2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	1		2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1		10	マニュアルがあるかは知らない。	年2回の避難訓練(地震・火災)を実施しているが、周知方法については改善が必要。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	1		9		避難訓練(地震・火災)年2回実施している。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18			5		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	2		4		小さな怪我でも速やかに状況等の説明をご家庭にさせていただいております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23					
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ウィズユース東小平井		公表日		2026年2月25日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		1階と2階に分けての支援をしている。	特性に応じて活動スペースを分けているが人数に偏りがある場合もある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		階段が急なところもある。	特性に応じて扉を閉めたりと視覚的に対策を取っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		日常清掃、空気の入れ替え等毎日行っている。	行き届いていない場所の清掃も定期的に来るよう仕組み化していく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		その日の体調、調子に合わせて使用出来るようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			事業所評価だけでなく、日常からご家庭の意向等をお聞きし支援に繋げていきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		朝礼終礼を行い、意見を出し合える場を作っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			外部評価は実施していないが、今後検討していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		研修の習熟度を確認するためレポートの提出をしている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		公表されている支援を職員と内容を共有し支援している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			作成には広く職員の意見を取り入れながら進めていきたい。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		作成後も職員全員で共有している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		職員間で計画書の共有は出来ている。	定期的に確認の場を設けたい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			日々様子を注視し、職員間で共有するようにしていく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			移行支援、地域支援、地域連携には課題が残る。具体的に何が出来るか考えていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		職員間でのイベントの相談を行っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			活動の種類を増やしたり、新しいものを取り入れて既存のプログラムにも修正をしていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		発達段階に合わせてバランスを考えている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼を行い、情報を共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			非常勤職員には振り返りの情報共有が出来ないこともあるので連絡ツールの活用をしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		クラウドツール(HUG)にて当日の様子を記載している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		支援計画のタイミングで実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		遊びの選択、おやつ選択など。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じてケース会議に参加している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		お迎え時などに情報共有させていただいている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			まだ該当児童がいらないため今後実施していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			同事業所内での交流はあるが、地域の子どもの交流を設けていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			グループ代表が参加しているが、施設からも参加出来るようにしたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時に当日の様子などを伝えている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		同事業所内では行っている。	施設内では出来ていないので今後検討していきたい。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用契約時に説明をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		送迎時、面談時などで確認し、ご利用者様ご家族様の意向に沿いながら作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画書作成時に説明を行い、同意をいただいている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて面談を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○	同事業所全体では行っているが、施設内では出来ていない。	今後施設内でも検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		何かあった際には管理者中心に迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	LINEでの案内やHUGでの活動記録を公開している。	公開の頻度を増やしていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		送迎時の報告やLINEを活用している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		同事業所内でキッチンカーや子ども食堂などを開催している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		職員は必要な研修は年間スケジュールで実施している。	実施していることをご家族様への周知を考えていく必要がある。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年2回の避難訓練(火災・地震)	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時やアセスメントシート等での確認をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		年間スケジュールで必要な研修を組み込んでいる。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	訓練実施時はHUG等の記録で公表している。	ご家族様への連携は考えていく必要がある。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			再発防止のためにも些細なことでも危険を察知する意識を高めていきたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年間スケジュールで必要な研修を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に説明している。	さらに理解を深められるようにしていきたい。	